

## 再評価結果（平成22年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：深澤 淳志

事業名 地域高規格道路 <small>とつとり とよおか みやづ</small> 鳥取豊岡宮津自動車道 一般国道178号 <small>あまるべ</small> 余部道路	事業 一般国道 区分	事業 兵庫県 主体
起終点 自：兵庫県美方郡香美町香住区森 至：兵庫県美方郡香美町香住区余部		延長 5.3 km
事業概要 鳥取豊岡宮津自動車道は、鳥取県東部、兵庫県但馬、京都府北部の各地方生活圏を連絡するとともに高規格幹線道路と一体となって広域的な循環ネットワークを形成し、地域の交流・連携の促進と安全・安心の向上を図るものである。 余部道路は、鳥取豊岡宮津自動車道の一部を形成し、兵庫県香美町内における国道178号の幅員狭小及び線形不良箇所を迂回し安全な通行ルートを確保するとともに、三次救急医療機関へのアクセス向上を図り地域医療の支援等を目的に計画された道路である。		
H12年度事業化		H13年度用地着手
H13年度工事着手		
全体事業費 227億円	事業進捗率 99.6%	供用済延長 0 km
計画交通量 9,200台/日		
費用対効果分析結果 B/C (事業全体) 1.8 (残事業) 60.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 8/249億円 (事業費：0.92/242億円) (維持管理費：6.7/6.7億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 460/460億円 (走行時間短縮便益：367/367億円) (走行経費減少便益：65/65億円) (交通事故減少便益：27/27億円)
基準年 平成21年		
事業の効果等 ①日常生活圏中心都市へのアクセス向上 ・香美町～豊岡市の所要時間が短縮。(11分→6分：5分短縮) ②災害の代替え路線の確保 ・現道178号の異常気象時通行規制区間における代替路を確保。 ③救急医療機関へのアクセス性向上 ・但馬地域における唯一の三次救急医療機関（豊岡病院）への30分圏域が拡大し搬送時間の短縮が図られる。(新温泉町～豊岡病院：約5分短縮) ④主要観光地へのアクセス性向上 ・沿線へのアクセス向上により観光客の増加が見込まれる。(香美町総入込客数：1,400千人/年)		
関係する地方公共団体等の意見 地域から頂いた主な意見等 ・平成21年7月 但馬地域の全市町（豊岡市・養父市・朝来市・香美町・新温泉町）で構成する但馬・地域高規格道路推進協議会等から当該工区の早期完成の要望を受けている。		
事業評価監視委員会等の意見 「一般国道178号 余部道路」については、公共事業等審査会に提出された調書に基づき慎重に審議した結果事業の必要性は依然高いため、対応方針（原案）のとおり継続妥当と判断した。 知事の意見：上記公共事業等審査会の審査結果を踏まえ事業継続する。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成20年度に隣接する浜坂道路が新規事業採択された。 但馬地域では、北近畿豊岡自動車道が整備されており平成23年度に和田山～八鹿間の暫定供用が予定されている。		
事業の進捗状況、残事業の内容等		

用地買収率100%、事業進捗率99.6%（事業費）

残事業：舗装工事、安全施設工

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

平成21年度末で進捗率90%を越えており、引き続き平成22年12月の全線供用に向けて工事の進捗を図る。

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、橋梁構造の見直しや、新技術・新工法の活用によりコスト縮減に努める。

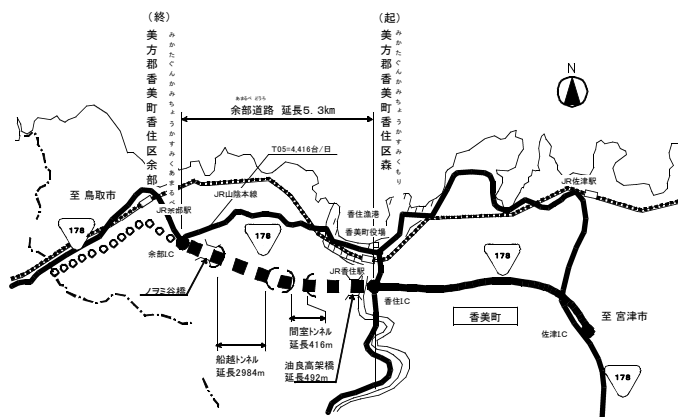
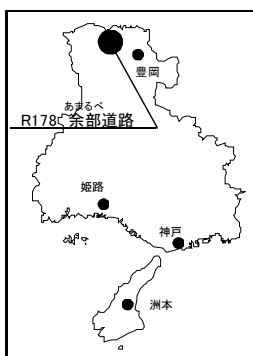
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の事業の効果、公共事業等審査会における審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。